

公開シンポジウム

「ダーウィン生誕200年記念 進化学プレ・シンポジウム2008」の開催について

1. 主 催 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 進化・系統学分科会
2. 共 催 日本進化学会
3. 後 援 国際生物学オリンピック日本委員会 (JB0)
4. 日 時 平成20年9月20日 (土) 13:00～17:00
5. 場 所 東京大学農学部1号館2階 8番講義室
6. 次 第

開催趣旨

2009年は、進化論を唱えたチャールズ・ダーウィン (Charles R. Darwin) の生誕200周年にあたります。また、自然選択による進化論を展開した『種の起源』(初版、1859年刊)の出版150周年にもあたります。そのため、2009年をダーウィン記念生物学祭の年と位置づけ、世界各国の博物館でダーウィン展が催されています。

日本学術会議進化・系統学分科会では、生物学・進化学におけるダーウィンの業績を称えて、2009年のダーウィン記念生物学祭の広い周知と宣伝、そして進化生物学の教育と啓蒙のため、1年前の今年2008年9月に以下の要領で「ダーウィン生誕200年記念 進化学プレ・シンポジウム2008」を開催したいと考えております。

万障お繰り合わせの上、ご参集下さいますようお願い申し上げます。

司 会：佐倉 統 (東京大学大学院情報学環教授、日本学術会議連携会員)

開会の挨拶 (趣旨説明)：嶋田 正和 (東京大学大学院総合文化研究科教授、
日本学術会議連携会員、日本学術会議進化・系統学分科会幹事)

講 演 (13:05～15:55)

ー第1部ー 進化学の教育と啓蒙 (中等教育、社会を含めて)

- 1) 長谷川 眞理子 (総合研究大学院大学教授、日本学術会議連携会員、
日本学術会議進化・系統学分科会副委員長)

「ダーウィンとその時代」

- 2) 渡辺 政隆 (サイエンス・ライター)
「現代日本の進化論リテラシー」

- 3) 中井 咲織 (立命館宇治高等学校教諭)
「中等教育で進化をどう教えるか」

ー休憩ー

－第2部－ 進化学の最前線

1)浅島 誠（東京大学理事(副学長)、日本学術会議副会長）

「発生生物学からみた進化学への系譜」

2)五條堀 孝（国立遺伝学研究所生命情報 DDBJ 研究センター長・教授、

日本学術会議連携会員、日本学術会議進化・系統学分科会委員）

「ダーウィンを超えて－進化学革命の最前線（中立説からゲノムまで）－」

II パネルディスカッション（15：55～16：55）

司会：佐倉 統（東京大学大学院情報学環教授、日本学術会議連携会員）

閉会の挨拶： 浅島 誠（東京大学理事(副学長)、日本学術会議副会長）

■参加申込方法

以下のプレ・シンポジウムのサイトに入って、案内に従って申し込んでください。

<http://www.darwin-200th.net/>

問合せ先： 日本進化学会事務局・（株）クバプロ

E-mail：shinka@kuba.jp TEL：03-3238-1689, FAX：03-3238-1837

*定員（220名）となり次第、締め切りとさせていただきます。